

授業案③⑩ 対立と合意、効率と公正

1 対象

中学生

2 獲得目標

紛争解決手続としての「対立と合意」及び「公正」、並びに、紛争解決基準としての「効率と公正」という考え方を理解する。状況の変化に応じてルールを作る（又は作り変える）及び配分方法を検討するという柔軟な思考を身に付けた上で、紛争解決技能としての「問題の整理」「よく聴き、よく伝える」という技能を使いこなしながら、自分とは意見を異にする他者とコミュニケーションをとって望ましいルールについての合意を形成する。

ルール作りや配分方法を検討する体験を通じてルールを身近なものと感じることで、ルールに対する肯定的・動的・主体的な認識を形成し、公共的な事柄に参加する民主主義の精神と、自分たちが作ったルールを積極的に守ろうとする規範意識を育む。

3 指導要領との関係

中学校学習指導要領第2章第2節「社会」第2〔公民的分野〕2「内容」A「私たちと現代社会」(2)「現代社会をとらえる枠組み」は、「対立と合意、効率と公正などに着目して、課題を解決したりする活動を通じて、次の事項を身に付けることができるよう指導する」として、ア知識に関して、「(ア)現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解すること、(イ)人間は本来社会的動物であることを基に、個人の尊厳について理解すること」を、イ思考力・判断力・表現力に関して、「(ア)社会生活における物事の決定の仕方、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現すること」を求めている。

4 弁護士が授業を行う意味

弁護士は、実務家として法律というルールに携わるとともに、その法律がどのような社会問題を解決するために制定されているかも深く理解している。したがって、紛争解決のゴールを見据えながら、ルールや配分方法の検討過程で必要な視点を生徒に提供することが可能である。

5 授業の流れ

段階 時間	教師の主な発問・指示 学習内容	生徒の反応 指導のポイント
導入 5分	○5人組の班を作る。	★クラスの人数によっては、生徒会役を抜いて、4人組の班にしてもよい。

	○生徒会、サッカー部、野球部、卓球部、eスポーツ部の役割分担を決める。【ワークシートを配布】	★ここでは授業の途中で班分け、役割分担を行っているが、実際の授業では、事前に行っていてもよい。
展開1 10分	○概要を朗読する ○eスポーツ部の新設により、予算を巡ってクラブ間で紛争が起きたことを理解する（WS1①）。 ○紛争解決の手続としてのルール作り＝手続を尽くした話合いの結果、合意がまとまれば、対立が解消されて、紛争が解決することを理解する（WS1②）。 ○関係者全員が手続に参加して、十分に話し合うことが重要であることに気づく。	★現在の予算配分もよく頭にいれること。 ★対立の状況を理解する。 ★このとき、法がなかったらどうなるかを具体的に考えさせることで、「法」に対する否定的認識を肯定的認識（「法」があることで、幸福・豊かに暮らせること）へと転換させる。 ★また、ルールを「作る」という点を強調して、「法」に対する静態的・受動的認識を動態的・主体的認識（「法」は自ら作り、作り変えることができること）へと転換させる。 ★紛争解決手続における「公正」＝手続的正義
展開2 10分	○紛争解決の技能として、問題の状況を整理する（WS1③）。 ○自分の担当するクラブがどれくらいの予算が必要か理由とともに考える（WS2）。	★いきなりロールプレイに移行すると、うまく参加できない生徒が出てくるので、一人で考えを整理するための時間をとることは重要。 ★その上で、2時間授業で実施する等時間が許すのであれば、この段階で一度、例えば、サッカー部ならサッカー部役の生徒全員が集まるというように、同じ役割同士で集まって作戦会議をする時間をとるとロールプレイ時の発言が苦手な生徒へのフォローになる。
展開3 20分	○各役割を持つ生徒を1名ずつ集めた班を作って、どの部活が、どの程度の予算を使うことが適切か、紛争解決の技能としての「よく聴き、よく伝える」という技能を使いこなしながら、話し合う（WS3）。 ○班ごとに討論の結果合意した予算配分や、配分のためのルールと理由・ポイントを発表する。 ○紛争解決の基準として、効率と公正（平等）について理解する。	★各班に各役割を1名ずつ配置することで、傍観者をなくして、生徒に積極的な参加をさせることができる。 ★時間がなければ、机間巡回の結果を踏まえて、教員の側で発表する班を指名する。 ★理由については、箇条書きで答えさせるとよい。 ★生徒の発表の中から、教員の側で、「効率と公正」に関してポイントとなる回答を指摘し、よいルール、すなわち効率的なルールになっているか、本当に公正（平等）なルールになっているかを問い直す。 ★適当な答えがない場合に備えて、教員の側で、生徒への質問や生徒会の予算も検討しておく。

		★「効率」とは、お金や時間といった有限な資源についての配分が無駄のないようになっていることをいう。 ★「平等」とは、同じものは同じように扱い、違うものはその違いの程度に応じて違うように扱うことをいう。具体的には、必要性、貢献度、能力の違いに応じて違う扱いをすることである。 ★【概要】にあるように、eスポーツ部が活動の性質上大きな予算を必要とする点を契機に、「平等」の議論をスムーズに展開できる。 ★2時間授業で実施する等時間が許すのであれば、この段階まで進んだ後に、再度、班ごとにわかれて「効率と公正（平等）」を意識した予算の配分のルールを作らせると学習効果が高まる。
まとめ 5分	○ワークシートまとめに本時の学習事項を記入してまとめる（WSまとめ）。	★ルールが必要なのは、幸福・豊かに暮らすため。 ★「対立」状態は、「手続を尽くした公正な話し合いによる合意」が成立すれば解消されて、「紛争の解決」につながることを理解する。 ★紛争解決の基準（内容）として、「効率的かつ「公正（平等）」なルールになっているか点検。 ★「効率」とは、時間やお金という有限な資源についての配分が無駄のないようになっていること。 ★「平等」とは、同じものは同じように扱い、違うものはその違いの程度に応じて違うように扱うこと。

【概要】

1 はじめに

みなさん、こんにちは。私は〇〇中学校の生徒会の役員です。

私たちの中学校では、来年度から新しくeスポーツ（コンピューターゲームをスポーツ競技としてとらえたもの）部ができました。そのため、eスポーツ部が活動するための部費を学校側から支給しなければなりません。しかし、現時点では今年までと予算の総額は変わっておらず、eスポーツ部に部費を支給するためには、他の部活動の部費を削るか、新たな予算を獲得する等、何らかの対応を考えなければなりません。

私たち生徒会は、部費について各部活の代表者と話し合っ
て意見を調整し、来年度の各部活の部費を決定する役割
になっています。

今回の授業では、みなさんに協力していただき、どの部活も納得できる部費の配分を考えたいと思っています。

2 部費について

〇〇中学校では学校全体の予算のうち、100万円が各部の部費に割り当てられてきました。

昨年度までは、サッカー部に60万円、野球部に30万円、卓球部に10万円が割り当てられてきました。

〇〇中学校は公立の中学校であり、学校の予算を使う場合の上限は100万円となります。

なお、これまで、臨時の部費が必要になった場合や学校からの部費だけで活動を行うのに足りない場合は、同窓会から寄付を募ったり、保護者から追加部費の徴収をしたり、企業スポンサーから協賛金又は広告費を集めたりしていました。

このような状況のなか、新設されたeスポーツ部の部費について、学校の予算を各部にいくら配分すればよいか考えてください。

3 〇〇中学校の各部活について

(1) サッカー部について

県内屈指の強豪チームです。練習がとても厳しいため、部員は全部で20人です。夏の大会は毎年のように全国大会に出ており、全国各地に遠征に行きます。県外遠征のたびにバスを手配する関係で費用が掛かっており、毎年学校から割り当てられる部費だけでは足りません。例年保護者から、1年あたり3万円程度の臨時部費を徴収しています。一部保護者からは臨時の部活動費の負担が大きい、県内の試合会場への送り迎えが大変という意見が出ています。サッカーボール等の備品や、試合中の飲料、テーピング等の医療キットの補充等毎年購入する必要があり、例年備品費で10万円程度かかっています。卒業生には現役プロ選手が多数います。

(2) 野球部

部員は全部で35名います。かつて、全国大会に出場したこともありますが、ここ数年は県大会の1回戦負けが続いています。部としては「県大会1回戦突破」「野球を楽しむこと」をモットーに、毎日和気あいあいと練習、試合に取り組んでおり、部員や部をサポートする教職員・保護者との関係は良好です。グローブやバット、練習用のユニフォーム等は入部の際に生徒に購入して

もらうため、部活として購入する備品は少なく、年間2万円程度が備品費として消費されます。なお、大会を勝ち進んだり、遠方に練習試合に行ったりすることがないため、部活動そのもので使う部費は学校から割り当てられる予算内ですが、部員間や担当の交流を深めるため、毎年校庭でバーベキューを実施しており、バーベキューの費用が5万円ほどかかり、ほとんど使い切る状態です。

(3) 卓球部

卓球部は、創部以来入部希望者も少なく常に廃部寸前の状況が続いていましたが、昨年小さいころから全国的にも注目されていた卓球少女が入部したため、昨年、今年と入部希望者が多数出て、今では20名の部員がいます。もっとも、卓球少女を除いて、中学校から卓球を始めた生徒が多く、団体戦は市町村大会で敗退し、県大会には出場できないのが現状です。もっとも、卓球少女はシングルの全国大会に出場し、昨年の夏の大会は優勝、今年は準優勝で、オリンピックの強化指定選手にもなっています。卓球台などは学校の備え付けのものがあ、ラケットやボール等の用具は基本的に個人で準備してもらっている関係で、部費から備品関係の支出はほとんどありません。ただ、卓球少女の全国大会や強化試合の遠征費等は部費から捻出することはできず、約20万円が個人の負担となっています。

(4) eスポーツ部

来年度新設される新しい部です。現時点では在校生を中心に10名の部員予定者がいます。近年のeスポーツ人気の向上に伴い、新入生の入部が15名以上見込まれます。部室自体は、学校の空き部屋を使うことになります。もっとも、PCやゲーミングチェア等の備品は、初年度の来年度に購入する必要がある、当初50万円の支出が見込まれます。その後も、毎年、コンピューターゲームの購入費用やメンテナンス費用等年間で最低でも10万円はかかる見込みです。試合などはオンラインで行われることも多く、全国大会等大きな大会以外には旅費がかからないことも多いです。現時点では各種大会に参加予定ですが、大会参加費は、大会ごとにかかります。

4 ○○中学校について

○○中学校の全校生徒は150人です。関東にある都県にある公立中学校です。校庭、体育館、プール、部室等、運動部が活動するのに十分な設備は整っています。校庭はサッカーコートと野球コートそれぞれ1面ずつとれます。

【ワークシート 1】

- ① ○○中学校で起こっている問題を整理しましょう。

--

- ② ①を解決するためにはどのような方法がよいか考えましょう。

--

- ③次の表を完成させて、問題の状況を整理しましょう。

部活名	予算増額の事情	予算減額の事情	外部予算獲得の可能性
サッカー			
野球			
卓球			
e スポーツ			

【ワークシート2】

あなたは、自分が所属する部の代表者として、予算調整会議に出席することになりました。あなたが所属する部は、学校からの部費の割り当て部費をいくらにしてもらいたいと提案しますか。あなたが所属する部以外の部の人たちにも納得してもらえるように、その金額の部費を提案した理由も考えましょう。

生徒会役の人は、それぞれの部費をいくらにすべきか、その理由についても考えましょう。

○予算額

_____円

○上記金額を提案する理由

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

【ワークシート 3】

予算配分について話し合しましょう。話し合いによって決まった部費の額を記入しましょう。この金額になった理由についても併せて記入しましょう。

合意ができた場合には、その証として、各部の代表者が署名押印しましょう。

部活名	金額	理由
サッカー部		
野球部		
卓球部		
e スポーツ部		

サッカー部代表

氏名 _____ 印

野球部代表

氏名 _____ 印

卓球部代表

氏名 _____ 印

e スポーツ部代表

氏名 _____ 印

生徒会代表

氏名 _____ 印